

vSphere ホスト プロファイル

Update 1

VMware vSphere 5.5

VMware ESXi 5.5

vCenter Server 5.5

このドキュメントは新しいエディションに置き換わるまで、ここで書いてある各製品と後続のすべてのバージョンをサポートします。このドキュメントの最新版をチェックするには、<http://www.vmware.com/jp/support/pubs> を参照してください。

JA-001347-02

vmware[®]

最新の技術ドキュメントは VMware の Web サイト (<http://www.vmware.com/jp/support/>) にあります
VMware の Web サイトでは最新の製品アップデートも提供されています。

このドキュメントに関するご意見およびご感想がある場合は、docfeedback@vmware.com までお送りください。

Copyright © 2009–2017 VMware, Inc. 無断転載を禁ず。著作権および商標情報。

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

VMware株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

目次

vSphere® ホスト プロファイルについて	5
更新情報	7
1 vSphere Web Client でのホスト プロファイルの使用	9
vSphere Web Client でのホスト プロファイルの使用モデル	10
vSphere Web Client でのホスト プロファイルへのアクセス	10
vSphere Web Client でのホスト プロファイルの作成	10
vSphere Web Client でのホスト プロファイルへのエンティティの添付	11
ホスト プロファイルからのエンティティの分離	11
vSphere Web Client でのコンプライアンスの確認 vSphere Web Client	12
vSphere Web Client でのホストの修正	12
vSphere Web Client でのホスト プロファイルの編集	13
vSphere Web Client でのホスト プロファイルの複製	15
vSphere Web Client でのホストからの設定のコピー	16
vSphere Web Client のホスト プロファイルと vSphere Auto Deploy	16
vSphere Web Client でのホスト プロファイルのインポート	16
vSphere Web Client でのホスト プロファイルのエクスポート	17
インデックス	19

vSphere® ホスト プロファイルについて

『vSphere ホスト プロファイル』 ドキュメントには、ホスト プロファイルの管理に関する情報が記載されています。

『vSphere ホスト プロファイル』 ドキュメントには、次を実行する方法が説明されています。

- ホスト プロファイルの作成
- ホスト プロファイルのエクスポートおよびインポート
- ホスト プロファイル ポリシーの編集
- ホスト プロファイルへのエンティティの添付
- ホスト プロファイルに添付されたエンティティへのホスト プロファイルの適用
- ホスト プロファイルに添付されたエンティティに対するホスト プロファイルのコンプライアンスの確認
- ホストのカスタマイズの表示および更新

対象読者

『vSphere ホスト プロファイル』 ドキュメントは、vSphere のホストの構成に精通する管理者を対象としています。

更新情報

『vSphere ホスト プロファイル』は、製品のリリースごとに、または必要に応じて更新されます。

『vSphere ホスト プロファイル』の更新履歴については、次の表をご確認ください。

リビジョン	説明
JA-001347-02	vSphere Web Client でのポリシーの編集 (P. 13) ：不完全な文章を修正。
JA-001347-01	vSphere Web Client のホスト プロファイルと vSphere Auto Deploy (P. 16) ：綴り間違いを訂正。
JA-001347-00	初期リリース。

vSphere Web Client でのホスト プロファイルの使用

1

ホスト プロファイル機能によりプロファイルが作成されます。このプロファイルはホストの構成をカプセル化し、特に管理者が vCenter Server で複数のホストまたはクラスタを管理する環境では、ホストの構成を管理する場合に役立ちます。

ホスト プロファイルを使用することで、ホスト構成と構成コンプライアンスに応じて自動化され、一元管理されたメカニズムを使用できます。ホスト プロファイルを使用して、反復的な手動タスクを行う頻度を減らすことで、効率を改善させることができます。ホスト プロファイルは事前に構成され、検証された参照ホストの構成を取得し、管理対象オブジェクトとして構成を保存して、含まれているパラメータのカタログを使用し、ネットワーク、ストレージ、セキュリティ、および他のホスト レベルのパラメータを構成します。ホスト プロファイルは個々のホストに適用することも、1 つのクラスタに適用することもできます。ホスト プロファイルを 1 つのクラスタに適用すると、そのクラスタ内のすべてのホストに影響が及ぼされるため、クラスタ内のすべてのホストで一貫性のある構成を行うことができます。

ホスト プロファイルを使用して、ホストまたはクラスタのコンプライアンスをそのホストまたはクラスタに関連付けられたホスト プロファイルと比較して確認することで、ホストの構成を検証できます。

この章では次のトピックについて説明します。

- [vSphere Web Client でのホスト プロファイルの使用モデル \(P. 10\)](#)
- [vSphere Web Client でのホスト プロファイルへのアクセス \(P. 10\)](#)
- [vSphere Web Client でのホスト プロファイルの作成 \(P. 10\)](#)
- [vSphere Web Client でのホスト プロファイルへのエンティティの添付 \(P. 11\)](#)
- [ホスト プロファイルからのエンティティの分離 \(P. 11\)](#)
- [vSphere Web Client でのコンプライアンスの確認 vSphere Web Client \(P. 12\)](#)
- [vSphere Web Client でのホストの修正 \(P. 12\)](#)
- [vSphere Web Client でのホスト プロファイルの編集 \(P. 13\)](#)
- [vSphere Web Client でのホスト プロファイルの複製 \(P. 15\)](#)
- [vSphere Web Client でのホストからの設定のコピー \(P. 16\)](#)
- [vSphere Web Client のホスト プロファイルと vSphere Auto Deploy \(P. 16\)](#)
- [vSphere Web Client でのホスト プロファイルのインポート \(P. 16\)](#)
- [vSphere Web Client でのホスト プロファイルのエクスポート \(P. 17\)](#)

vSphere Web Client でのホスト プロファイルの使用モデル

ホスト プロファイルのワークフローは参照ホストの概念から開始します。参照ホストは、ホスト プロファイルの抽出元となるテンプレートとして機能します。指定参照ホスト、およびそのホストへのホスト プロファイルの関連付けは、ホスト プロファイルの作成後も維持されます。以降のホスト プロファイルの使用時に備えて、参照ホストは正常であり、使用可能である必要があります。

開始する前に、少なくとも 1 つのプロパティと完全に構成されたホストを持つ、既存の vSphere インストール済み環境を用意しておく必要があります。

参照ホストからホスト プロファイルを作成し、そのホスト プロファイルをホストまたはクラスタに適用して、ホスト プロファイルに対してコンプライアンスを確認するために必要な順序は次のとおりです。

- 1 参照ホストを設定して、構成します。
- 2 参照ホストからホスト プロファイルを作成します。
- 3 他のホストまたはクラスタをホスト プロファイルに添付します。
- 4 ホスト プロファイルに対してコンプライアンスを確認します。参照ホストと準拠しているホストはすべて正しく構成されています。
- 5 適用（修正）します。

ホスト プロファイルがサポートされるのは、VMware vSphere 4.0 以降を実行しているホストのみです。この機能は VMware Infrastructure 3.5 以前のホストではサポートされていません。ホストで VMware Infrastructure 3.5 以前が実行されている場合、ホスト プロファイルをそれらのホストに添付することはできませんが、修正およびコンプライアンスの確認は常に失敗します。また、VMware Infrastructure 3.5 以前を実行しているホストを参照ホストとして使用することはできません。

vSphere のライセンスが供与された機能として、ホスト プロファイルは適切なライセンスがある場合にのみ使用できます。エラーが発生する場合は、適切な vSphere のライセンスがホストにあることを確認してください。

ホスト プロファイルで認証にディレクトリ サービスを使用する場合は、ディレクトリ サービスを使用するように参照ホストを構成する必要があります。【vSphere セキュリティ】ドキュメントを参照してください。

vSphere Auto Deploy

vSphere Auto Deploy でプロビジョニングされたホストの場合、vSphere Web Client はホスト プロファイルで取得されるホスト構成全体を所有しています。ほとんどの場合、構成情報をすべて保存するにはホスト プロファイル情報が十分です。Auto Deploy でプロビジョニングしたホストが起動する際、ユーザーの入力が求められる場合があります。Auto Deploy の詳細については、【vSphere のインストールとセットアップ】ドキュメントを参照してください。

vSphere Web Client でのホスト プロファイルへのアクセス

ホスト プロファイルのメイン ビューには、使用できるプロファイルがすべて一覧で表示されます。システム管理者は、ホスト プロファイルのメイン ビューを使用して、ホスト プロファイルでの操作の実行やプロファイルの構成を行うこともできます。

手順

- 1 vSphere Web Client のホームページで、[ルールおよびプロファイル] をクリックします。
- 2 [ホスト プロファイル] をクリックします。

vSphere Web Client でのホスト プロファイルの作成


指定した参照ホストの構成を抽出してホスト プロファイルを新規作成します。

注意 特定のホストまたはクラスタに移動してホスト プロファイルを抽出することもできます。

開始する前に

機能している vSphere インストールと、参照ホストとして機能するように、正しく、完全に構成されたホストが少なくとも 1 つあることを確認します。

手順

- 1 ホスト プロファイル ビューに移動します。
- 2 [ホストからプロファイルを抽出] アイコン ().
- 3 参照ホストとして機能するホストを選択し、[次へ] をクリックします。
選択したホストは有効なホストであることが必要です。
- 4 新しいプロファイルの名前および説明を入力して、[次へ] をクリックします。
- 5 新しいプロファイルの概要情報を確認し、[終了] をクリックします。

新しいプロファイルがプロファイル リストに表示されます。


vSphere Web Client でのホスト プロファイルへのエンティティの添付

参照ホストからホスト プロファイルを作成した後、ホスト プロファイルにホストまたはクラスタを添付する必要があります。

開始する前に

ホスト プロファイルは、健全で利用可能な参照ホストからすでに抽出されている必要があります。

手順

- 1 ホスト プロファイルのメイン ビューのプロファイル リストから、ホストまたはクラスタに適用するホスト プロファイルを選択します。
- 2 [ホスト プロファイルに対するホストおよびクラスタの添付/分離] アイコン ().
- 3 展開されたリストからホストまたはクラスタを選択し、[適用] をクリックします。
添付されたエンティティのリストにホストまたはクラスタが追加されます。
- 4 (オプション) 表示されたすべてのホストおよびクラスタをプロファイルに添付するには、[すべて添付] をクリックします。
- 5 [次へ] をクリックします。
- 6 (オプション) ホスト プロファイル ポリシーのユーザー入力パラメータを更新または変更するには、ホストをカスタマイズします。

[\[vSphere Web Client のホスト プロファイルと vSphere Auto Deploy \(P. 16\)\]](#) を参照してください。


- 7 [終了] をクリックして、ホストまたはクラスタのプロファイルへの添付を完了します。

ホスト プロファイルからのエンティティの分離

ポリシー管理構成をホストまたはクラスタから削除するには、そのホストまたはクラスタをホスト プロファイルから分離する必要があります。

ホスト プロファイルがクラスタに添付されている場合、そのクラスタ内のホストもホスト プロファイルに添付されます。しかし、ホスト プロファイルがクラスタから分離されても、ホストまたはクラスタ内のホストと、ホスト プロファイルの関連付けはそのまま残ります。


手順

- 1 ホスト プロファイルのメイン ビューにあるプロファイル リストから、ホストまたはクラスタから分離するホスト プロファイルを選択します。
- 2 [ホスト プロファイルに対するホストおよびクラスタの添付/分離] アイコン () をクリックします。
- 3 展開されたリストからホストまたはクラスタを選択し、[分離] をクリックします。
添付されたエンティティのリストにホストまたはクラスタが追加されます。
- 4 (オプション) [すべて分離] をクリックして、リストされたすべてのホストとクラスタをプロファイルから分離します。
- 5 [次へ] をクリックします。
- 6 [終了] をクリックして、ホストまたはクラスタのプロファイルへの添付を完了します。

vSphere Web Client でのコンプライアンスの確認 vSphere Web Client

ホストまたはクラスタの添付されたホスト プロファイルへのコンプライアンスを確認したり、ホストとホスト プロファイルで指定された構成パラメータに違いがある場合にはそのパラメータを特定したりできます。

手順

- 1 ホスト プロファイルに移動します。
[オブジェクト] タブにはすべてのホスト プロファイル、ホスト プロファイルに添付されたホストの数、前回のコンプライアンス チェックの結果の概要が一覧表示されます。
- 2 [ホスト プロファイル コンプライアンスの確認] アイコン () .

[オブジェクト] タブで、コンプライアンス ステータスが、「準拠」、「不明」、または「非準拠」のいずれかに更新されます。

「非準拠」ステータスは、プロファイルとホスト間での特定の不整合が検出されたことを示します。これを解決するには、ホストを修正する必要があります。「不明」ステータスは、ホストのコンプライアンスを確認できなかったことを示します。この問題を解決するには、ホスト プロファイルを使用してホストを修正します。

次に進む前に

コンプライアンスのエラーの詳細については、[オブジェクト] タブから前回のコンプライアンス チェックで 1 つ以上エラーが見つかったホスト プロファイルを選択します。コンプライアンス エラーのあるホストとホスト プロファイルとの間で異なるパラメータを詳細に表示するには、[監視] タブをクリックし、[コンプライアンス] ビューを選択します。次にオブジェクト階層を展開し、エラーのあるホストを選択します。異なっているパラメータが階層の下の [コンプライアンス] ウィンドウに表示されます。

vSphere Web Client でのホストの修正

コンプライアンス障害が発生した場合、修正機能を使用してホスト プロファイル設定をホストに適用します。この処理によって、すべてのホスト プロファイル管理対象パラメータは、ホストに添付されたホスト プロファイルに含まれている値に変更されます。

開始する前に

ホストにプロファイルが添付されており、ホストがメンテナンス モードになっていることを確認します。一部の変更によってホストの操作またはリソースの可用性に影響が及ぼされる場合があるため、修正時にホストはメンテナンス モードになっている必要があります。これにより、どのホスト レベルでパラメータを変更しても、仮想マシンに影響が及ぼされないようになります。

手順

- 1 ホストに対して修正するプロファイルに移動します。
- 2 [監視] タブを選択し、[コンプライアンス] をクリックします。

- 3 修正するホスト (複数可) を右クリックし、[すべての vCenter アクション]-[ホスト プロファイル]-[修正] を選択します。
- 4 (オプション) ホスト プロファイル ポリシーのユーザー入力パラメータを更新または変更するには、ホストをカスタマイズして [次へ] をクリックします。

vSphere Auto Deploy の詳細については、[\[vSphere Web Client のホスト プロファイルと vSphere Auto Deploy \(P. 16\)\]](#) を参照してください。

- 5 ホスト プロファイルの修正に必要なタスクを確認し、[終了] をクリックします。

コンプライアンス ステータスが更新されます。

vSphere Web Client でのホスト プロファイルの編集

ホスト プロファイルのポリシーの表示および編集、コンプライアンスを確認するポリシーの選択、およびポリシーの名前や説明の変更ができます。

手順

- 1 編集するホスト プロファイルに移動し、[管理] タブをクリックします。
- 2 [Edit Host Profile] をクリックします。
- 3 (オプション) プロファイルの名前と説明を変更して [次へ] をクリックします。
- 4 プロファイル ポリシーを変更します。

ホスト プロファイル ポリシーを編集する詳細な手順については、[\[vSphere Web Client でのポリシーの編集 \(P. 13\)\]](#) を参照してください。コンプライアンス チェックや修正に対してポリシーを有効または無効にする詳細な手順については、[\[vSphere Web Client でのホスト プロファイル コンポーネントの無効化 \(P. 15\)\]](#) を参照してください。

- 5 (オプション) ホストをカスタマイズします。
このプロファイルの使用可能な構成値を変更します。
- 6 [終了] をクリックします。

[最近のタスク] ステータスで「ホスト プロファイルを更新します」タスクが完了したら、変更が実行されます。タスクの完了前にプロファイルの修正を試みると、プロファイル構成には変更が反映されません。

vSphere Web Client でのポリシーの編集

ポリシーには、特定の設定を適用する方法が記述されています。特定のホスト プロファイルに含まれるポリシーを編集できます。

ホスト プロファイルを編集するときに、ホスト プロファイル構成の階層を展開して、ホスト プロファイルを構成するサブプロファイルのコンポーネントを表示できます。特定のパラメータを見つけやすくするため、これらのコンポーネントは機能グループやリソース クラスごとに分類されています。各サブプロファイル コンポーネントには、ポリシーやコンプライアンス チェックのほか、1 つ以上の属性やパラメータが含まれます。

各ポリシーは 1 つ以上のオプションで構成され、各オプションには 1 つ以上のパラメータが含まれています。各パラメータは 1 つのキーと 1 つの値で構成されます。値は、integer 型、string 型、string 配列、または integer 配列などの基本的な型のいずれかになります。

表 1-1. ホスト プロファイル サブプロファイル構成のサブセット

サブプロファイルの構成	ポリシーとコンプライアンス チェックの例	メモ
メモリ予約	メモリ予約を一定の値に設定します。	
ストレージ	NMP (ネイティブマルチパス)、PSA (プラグ可能ストレージ アーキテクチャ)、FCoE および iSCSI アダプタ、NFS ストレージを含めたストレージ オプションを構成します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ vSphere CLI を使用して、リファレンス ホストで NMP および PSA ポリシーを設定または変更し、そのホストからホスト プロファイルを抽出します。プロファイル エディタを使用してポリシーを編集する場合は、コンプライアンスに準拠しない事態を避けるために、NMP ポリシーと PSA ポリシー間の相互関係、個々のポリシーを変更したことで生じる結果について理解しておく必要があります。NMP および PSA の詳細については、[vSphere ストレージ] ドキュメントを参照してください。 ■ 独立型 iSCSI HBA は IPv6 をサポートしていないため、独立型ハードウェア iSCSI アダプタを使用して、ホスト プロファイルの [イニシエータ IPv6 アドレス] オプションおよび [イニシエータ IPv6 プリフィックス] オプションの値を設定しても、HBA には影響がありません。 ■ リファレンス ホストからホスト プロファイルを抽出する前にデバイス属性を変更するルールを追加します。ホスト プロファイルにホストを添付した後、デバイスのパスをマスクしたり、デバイスを SSD としてマークする SATP ルールを追加するなど、プロファイルを編集してデバイス属性を変更する場合は、変更を適用するためにホストを再起動するように促すメッセージが表示されます。ただし、属性が変わったため、再起動後、コンプライアンスに準拠しない事態が起こります。再起動前にホスト プロファイルがデバイスの属性を抽出するため、再起動の後に何らかの変化があると、それらの変化を特定して評価し、非準拠として報告します。
ネットワーク	仮想スイッチ、ポート グループ、物理 NIC の速度、セキュリティと NIC チューニングのポリシー、vSphere Distributed Switch、および vSphere Distributed Switch のアップリンク ポートを構成します。	ネットワーク サブプロファイルで DHCPv6 が有効な場合は、ファイアウォール サブプロファイルにある対応するルールセットを手動で有効にしてください。
日付と時間	時刻設定、サーバのタイムゾーンを構成します。	タイム ゾーンに UTC 文字列を入力します。たとえば、米国の太平洋タイム ゾーンの場合、「America/Los_Angeles」と入力します。 デフォルトのタイム ゾーンは、vSphere Web Client マシンのローカルの時刻と場所に設定されます。 ネットワーク時間プロトコル (NTP) を正しく設定します。NTP 設定は、ホストの [構成] タブで構成できません。[時間の構成] をクリックし、パネルの右上にある [プロパティ] をクリックします。
ファイアウォール	ルールセットを有効または無効にします。	
セキュリティ	ユーザーまたはユーザー グループの追加、および root パスワードの設定を行います。	

表 1-1. ホスト プロファイル サブプロファイル構成のサブセット (続き)

サブプロファイルの構成	ポリシーとコンプライアンス チェックの例	メモ
サービス	サービスの設定をします。	
詳細	詳細オプションを変更します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 詳細設定がデフォルト設定と同じ場合、ホスト プロファイルでは詳細設定はチェックされません。vCenter Server では、変更された、またはデフォルト値とは異なる詳細設定だけがコピーされます。さらに、コンプライアンス チェックの対象は、コピーされた設定に限定されます。 ■ ホスト プロファイルでは、ESXi ホスト上の仮想マシンパススルーに対する PCI デバイスの構成はサポートされません。

ほかのプロファイル構成のカテゴリには、ユーザー グループ、認証、カーネル モード、DCUI キーボード、ホスト キャッシュ設定、SFCB、リソース プール、ログイン バナー、SNMP エージェント、電力システム、および CIM インディケーション サブスクリプションがあります。

手順

- 1 ホスト プロファイルを編集します。
- 2 編集するポリシーに到達するまで、サブプロファイルを展開します。
- 3 ポリシーを選択します。
ポリシーのオプションとパラメータが [ホスト プロファイルの編集] ウィンドウの右側に表示されます。
- 4 ポリシーに変更を加えます。

vSphere Web Client でのホスト プロファイル コンポーネントの無効化

コンプライアンス チェック中に、ホスト プロファイル コンポーネントを適用または考慮するかどうかを指定できます。これにより、システム管理者は、重要度の低い属性の考慮を排除したり、ホスト プロファイルの一部がホスト間で変化する可能性のある値を無視したりすることができます。

手順


- 1 ホスト プロファイルを編集します。
- 2 目的のコンポーネントまたはコンポーネント要素に達するまで、ホスト プロファイル コンポーネントの階層を展開します。
- 3 修正中に適用しないコンポーネントまたはプロファイルのコンプライアンス チェック中に考慮しないコンポーネントの横にあるチェックボックスを無効にします。

注意 チェック ボックスは、デフォルトで有効になっています。チェック ボックスを無効にしてこのコンポーネントまたはコンポーネント要素のコンプライアンスの確認または適用を修正中に行わないようにした場合でも、コンプライアンス チェックが有効になっている別のポリシーは適用または確認されます。

vSphere Web Client でのホスト プロファイルの複製

ホスト プロファイルの複製は、既存のホスト プロファイルのコピーです。

手順

- 1 複製するプロファイルに移動します。
- 2 [ホスト プロファイルの複製] アイコン .
- 3 重複するホスト プロファイルの名前および説明を入力し、[次へ] をクリックします。

- 4 新しいプロファイルの概要情報を確認し、[終了] をクリックします。

プロファイルのクローンがホスト プロファイル リストに表示されます。

vSphere Web Client でのホストからの設定のコピー

参照ホストの構成が変更された場合、参照ホストの新しい構成と一致するようにホスト プロファイルを更新できます。

ホスト プロファイルを作成した後、プロファイルを段階的に更新できます。ホスト プロファイルに変更を加える場合は、次の 2 つの方法の利点と制限を検討してください。

- vSphere Web Client のホストの構成を変更し、そのホストの設定をプロファイルにコピーする。既存のプロファイル内の設定は、ホストの設定と一致するように更新されます。この方法を使用すると、プロファイルに添付されている他のホストに構成をロールする前に、単一ホスト上の構成を検証できます。
- ホスト プロファイルを編集して、プロファイルを直接更新する。この方法では、より包括的にすばやく変更を修正できます。

手順

- 1 ホスト プロファイルに移動します。
- 2 [ホストから設定をコピー] をクリックします。
- 3 構成設定のコピー元となるホストを選択します。
- 4 [OK] をクリックします。

vSphere Web Client のホスト プロファイルと vSphere Auto Deploy

ホスト プロファイルは、vSphere Auto Deploy と連動し、仮想スイッチ、ドライバ設定、起動パラメータなどの構成状態が完全で予想どおりの物理 ESXi ホストをプロビジョニングします。

Auto Deploy でプロビジョニングされたホストはステートレスと見なされるため、構成状態の情報はホストに保存されません。代わりに、リファレンス ホストを作成して希望の設定で完全に構成します。次に、このリファレンス ホストを使用してホスト プロファイルを作成します。次に、PowerCLI で Auto Deploy ルール エンジンを使用してホスト プロファイルを新しいデプロイ ルールに関連付けます。これで、新しいホストが Auto Deploy を通じてプロビジョニングされると、自動的にホスト プロファイルが適用されるようになります。

これらのホストへの修正はステートフルにデプロイされたホストと同じです。つまり、ホストをメンテナンス モードにして修正タスクを実行する必要があります。ホスト プロファイルの適用時に、ユーザーは、ホストをカスタマイズしホスト プロファイルの作成中に指定されるポリシーへの応答を入力するように求められます。

注意 Auto Deploy を介して ESXi をデプロイする場合は、ログをリモート サーバに保存するように Syslog を構成します。手順については、『vSphere のインストールとセットアップ』ドキュメントの「ホスト プロファイル インターフェイスからの Syslog の設定」を参照してください。


詳細については、vSphere Auto Deploy ドキュメントの「Auto Deploy のリファレンス ホストの設定」を参照してください。

vSphere Web Client でのホスト プロファイルのインポート

プロファイルは、VMware プロファイル形式 (.vpf) のファイルからインポートできます。

ホスト プロファイルをエクスポートしても、管理者およびユーザー プロファイルのパスワードはエクスポートされません。このセキュリティ措置により、プロファイルをエクスポートしたときにパスワードがプレーン テキストにエクスポートされることがなくなります。プロファイルをインポートしたあとにパスワードの値を再入力するよう求められ、それからパスワードがホストに適用されます。

手順

- 1 ホスト プロファイル ビューに移動します。
- 2 ホスト プロファイルのインポート アイコン () をクリックします。
- 3 [参照] をクリックし、インポートする VMware プロファイル形式のファイルを参照します。
- 4 インポートするホスト プロファイルの [名前] および [説明] を入力し、[OK] をクリックします。

インポートされたプロファイルがプロファイル リストに表示されます。

vSphere Web Client でのホスト プロファイルのエクスポート

プロファイルは、VMware プロファイル形式 (`.vpf`) のファイルにエクスポートできます。

ホスト プロファイルをエクスポートしても、管理者およびユーザー プロファイルのパスワードはエクスポートされません。このセキュリティ措置により、プロファイルをエクスポートしたときにパスワードがプレーン テキストにエクスポートされることがなくなります。プロファイルをインポートしたあとにパスワードの値を再入力するよう求められ、それからパスワードがホストに適用されます。

手順

- 1 エクスポートするホスト プロファイルに移動します。
- 2 プロファイルを右クリックして、[すべての vCenter アクション]-[ホスト プロファイルのエクスポート] を選択します。
- 3 プロファイルをエクスポートするファイルの場所を選択し、名前を入力します。
- 4 [保存] をクリックします。

インデックス

A

Auto Deploy 16

こ

更新情報 7

コンプライアンス チェック、ホスト プロファイル 15

さ

作成、ホスト プロファイル 10

へ

編集

ホスト プロファイル 13

ホスト プロファイルのポリシー 13

ほ

ホスト プロファイル

アクセス 10

コンプライアンスの確認 12

参照ホストからの更新 16

使用モデル 10

プロファイルの修正 12

プロファイルの編集 13

ホスト プロファイルからのホストまたはクラスタの
分離 11

ホスト プロファイル ビューからの作成 10

ホスト プロファイルへのホストまたはクラスタの添
付 11

ポリシーの編集 13

ポリシーの無効化 15

ホスト プロファイル、プロファイルの複製 15

ホスト プロファイルのインポート 16

ホスト プロファイルのエクスポート 17

ホスト プロファイルの使用 9

む

無効化、ホスト プロファイル ポリシー 15

